

(報道発表資料)



健康長寿のまち・京都



結核と闘うシールぼうや

令和6年7月16日
京都市保健福祉局

医療衛生推進室医療衛生企画課：075-222-4244
健康長寿のまち・京都推進室健康長寿企画課：075-222-3419

令和6年度「結核の予防とがんを考えるつどい」の開催 ～9月24日から30日は結核・呼吸器感染症予防週間、9月はがん征圧月間です～

結核は、近年減少傾向ですが、重大な感染症のひとつであり、過去の病気ではありません。また、がんは、昭和56年から日本人の死亡原因の第1位であり、生涯のうちに日本人の2人に1人がかかる疾患です。特に乳がんは、女性において罹患数が最も多いがんです。

この度、結核及びがんの予防に関する正しい知識と理解を深めるため、専門家による結核、肺MA C症を中心とした呼吸器感染症と、乳がんについての講演を行います。

是非御参加いただき、最新の情報を予防や対処にお役立てください。

- 1 日時 令和6年9月4日(水)
午後1時30分～午後4時(開場：午後1時)
- 2 会場 京都市北文化会館
〒603-8142
京都市北区小山北上総町49番地の2(キタオオジタウン内)
(市営地下鉄北大路駅下車(出入口1番))
- 3 内容 講演Ⅰ
「だんだん分かってきた呼吸器感染症
～肺結核と肺MA C症について～」
講師：独立行政法人国立病院機構近畿中央呼吸器センター
臨床研究センター 治験管理室長 小林 岳彦 氏

講演Ⅱ
「乳がん治療の現状と乳がん検診について
～日々進歩する乳がん治療と正しい乳がん検診～」
講師：京都府立医科大学 内分泌・乳腺外科
北野 早映 氏
- 4 対象 京都市民又は京都市内に通勤・通学されている方
- 5 定員 390名(先着順による事前申込制)

(裏面あり)

6 参加費 無料

- 7 申込方法 次の申込先に電話、FAX又は電子メールで必ず御予約ください。
- 【申込先】一般財団法人 京都予防医学センター
- ・電話：075-811-9155（受付：午前9時～午後5時）
 - ・FAX：075-811-9138
 - ・電子メール：genki@kyotoyobouigaku.or.jp
- 【受付期間】令和6年8月1日（木）～令和6年9月2日（月）
- ※ お申込みには、住所、氏名（ふりがな）、電話番号が必要です。
- ※ 手話通訳、要約筆記が必要な方は、8月23日（金）までにお申し込みください。（申込時にその旨を御記載ください。）

8 主催 京都市、京都府医師会、京都市地域女性連合会、京都予防医学センター

【結核について】

結核は、未だ我が国の主要な感染症の一つで、京都市では154人の患者（令和5年新規登録患者数速報値）が発生しています。

現在の高齢者は、若い頃に流行を経験し、既に結核に感染している人が多いといわれています。結核は、体力や免疫力の低下に伴い発病することがあり、京都市では、結核患者のうち、高齢者が約65%を占めています。

結核を疑う症状（咳、痰、発熱、だるさ、体重減少など）があれば、医療機関を受診しましょう。

※ 感染症法では、65歳以上の方は毎年結核健診を受けるように定められています。

【肺MAC症について】

肺MAC症は、非結核性抗酸菌の7～8割を占めるMAC菌による呼吸器感染症です。

結核菌と異なり、MAC菌は人から人には感染しないとされていますが、抗菌薬治療が難しい感染症で、近年その増加が問題となっています。

【がんについて】

「がん」は昭和56年以来、日本人の死亡原因の第1位であり、死亡数と罹患数は年々増加しています。主要死因別で見ると、他の疾病を大きく引き離しており、現在、日本人では、2人に1人が「がん」に罹患し、男性の4人に1人、女性の6人に1人が「がん」により亡くなると言われています。

部位別の死亡数は、全体で肺がんが最も多く、続いて大腸がん、胃がんの順番となっています。罹患数は、全体で大腸がんが最も多く、続いて肺がん、胃がんの順番となっています。

【乳がんについて】

乳がんは40～50歳代の女性のがん死亡原因の1位であり、また女性において最も罹患数の多いがんです。

がんは早期発見・早期治療により治る可能性が高くなりますので、定期的な検診が大切です。